

# 二ホンジカ捕獲応援隊による地域 ぐるみの野生鳥獣被害取組について

平成30年2月27日  
遠野市二ホンジカ捕獲応援隊  
隊長 太田代 雅敏





私は根っからの遠野人。  
大好きな遠野を思い、書いた。

◎若竹千佐子さん(わかたけ・ちさこ)  
昭和23年遠野市上郷町生まれ。葉石南高校(現・城石高)、若大寺大学教育学部卒。県内での講師経験をしていたが、結婚後、30歳で上京。主婦として2児を育て上げた。55歳の時に夫を亡くし、夫君の跡で小説講座に取り組む。「おらおらでひとりいぐも」が第4回文藝祭(河出書房新社主催)、第158回芥川賞(日本文学振興会主催)を受賞。現在は、千葉県木更津市に長きと二人暮らし。幼達。

『おらおらでひとりいぐも』 河出書房新社

74歳、ひとり暮らしの桃子さん。結婚を3日後に控えた24歳の秋、東京オリンピックのファンファーレに押し出されるように、故郷を飛び出した。周囲との出会いと結婚、二児の誕生と成長、そして夫の死。「この先一人でどうやって暮らす。こまったぁどうすんべえ」夫の死後、それまで自在に操れるはずだった孤独が暴れ始め、ふるさとの東北弁が頭の中で盜れ出す。震えるような悲しみの果てに、桃子さんが辿り着いたものとは――。

### 農作物被害状況（平成25年度）

ニホンジカによる農作物の被害状況は約1億5,900万円で、全体の98%を占める。飼料作物、水稻被害が多く、果樹、野菜についても、被害の拡大が見られている。

作物別被害状況		被害額・面積計（全獣種類計）	
<b>被害金額</b>		<b>農作物名</b>	<b>被害面積 (a)</b>
■飼料作物	44,355	被害額 (千円)	85,976
■稻	13,399		37,822
■果樹	2,061		16,646
■野菜	5,640		14,847
■工芸作物	561		6,870
■その他	91		483
■豆類	952		327
■雑穀	236		250
■いも類	37		152
■麦類	358		28
<b>合計</b>	<b>67,690</b>		<b>163,402</b>

**獣種別**

品目	被害額 (単位千円)	被害面積 (単位ha)
ハクビシン	149	0.07
クマ	3,924	17
ニホンジカ	159,329	675

## 平成24年度までの取組

### 市から農家への電気牧柵購入助成



### 実施隊による捕獲活動の強化



## ニホンジカ捕獲応援隊の設置の背景

第11次鳥獣保護事業計画（平成25年3月）によって、新たに規定された「狩猟免許を所持しない者が補助者として捕獲に従事できる」をもとに新たに設置

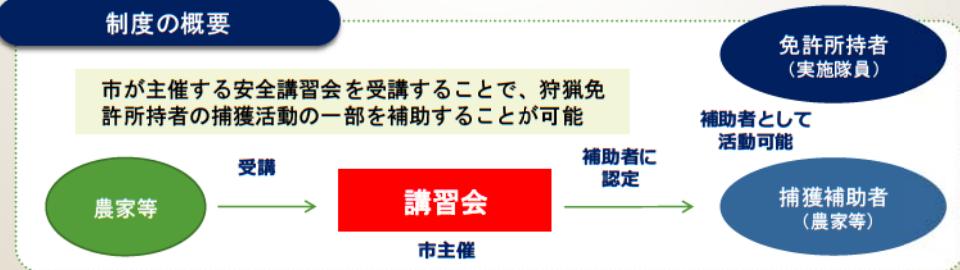
#### 第11次鳥獣保護事業計画（平成25年3月）（抄）

第4の3の（4）の②の（ア）のV

許可申請者が法人で、銃器の使用以外の方法による場合であって、従事者の中に獵法の種類に応じた狩猟免許所持者が含まれ、かつ、当該法人が従事者に対して講習会を実施することにより捕獲技術、安全性等が確保されないと認められる場合、従事者の中に当該免許を受けていない者を補助者として含むことが出来る。

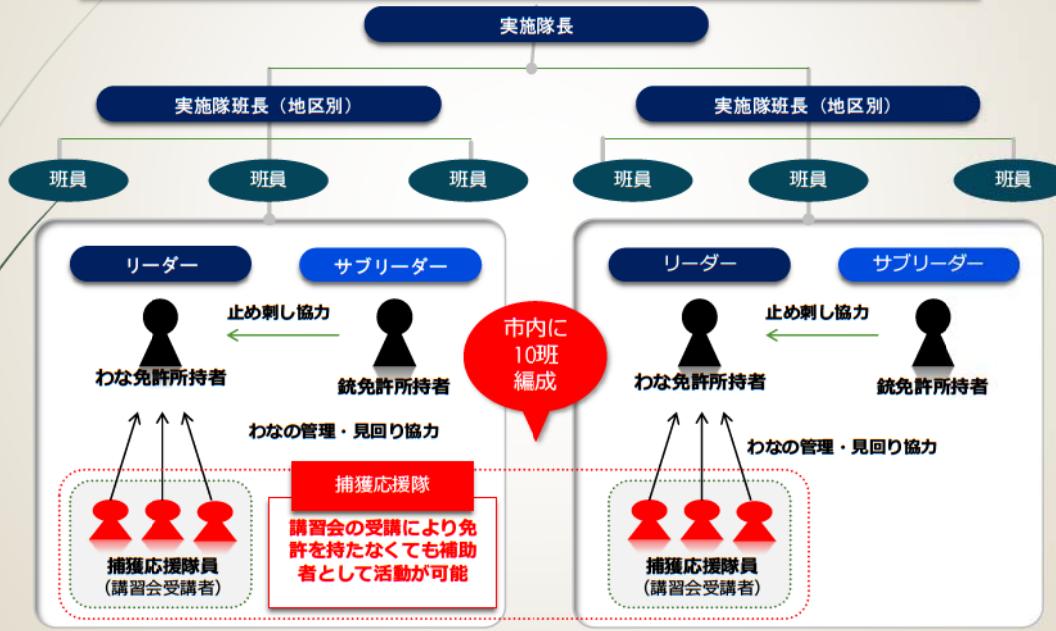
#### 制度の概要

市が主催する安全講習会を受講することで、狩猟免許所持者の捕獲活動の一部を補助することが可能



# 捕獲応援隊のしくみ

実施隊の地区班毎に集落担当を決め「捕獲応援隊員」によるわなの管理・見回り協力を含め、所有農地周辺部での捕獲協力を行う。



## 第1回ニホンジカ捕獲応援隊育成講習会の様子



## 取組結果について

ニホンジカ捕獲頭数

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
有効捕獲数	332頭	516頭	1,015頭	705頭	951頭	1,264頭
内わな	14頭	85頭	485頭	545頭	595頭	847頭
内応援隊	-	-	88頭	67頭	98頭	115頭
わな割合	4.2%	16.4%	47.7%	77.3%	62.5%	67.0%

わなの  
設置方  
法も現  
場で一  
工夫

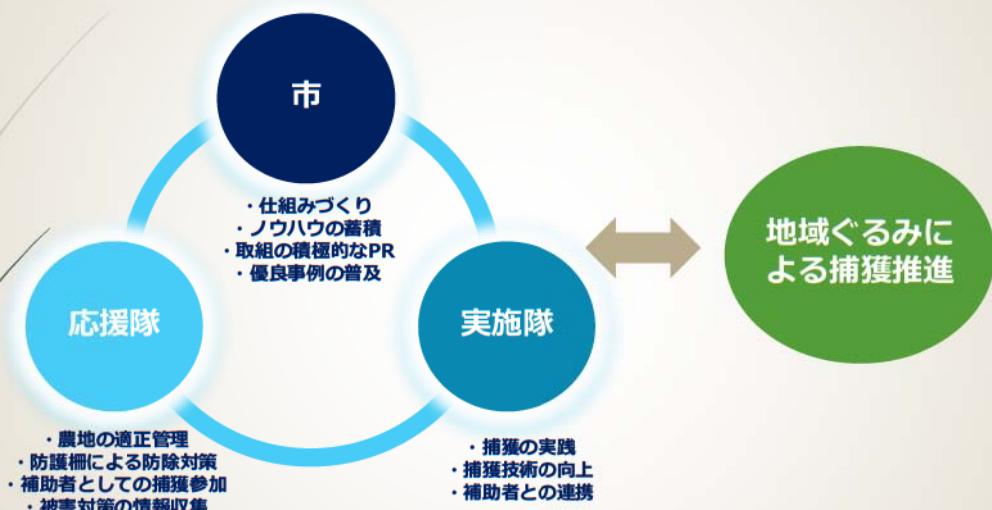
担い手の増加

年度	H24	H25	H26	H27	H28
鳥獣被害対策実施隊員数	62人	67人	69人	74人	79人
ニホンジカ捕獲応援隊登録者数	-	81人	107人	125人	125人



## 終わりに

[それぞれの役割の中で地域ぐるみの捕獲を推進]



- ・被害対策を市民と共有する
- ・市民参加型で捕獲効率を上げる
- ・参加型から新たな担い手を発掘する